

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
文書バージョン: 4.2 – 2015-11-12

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム .NET SDK ランタイムデプロイメントガイド



目次

1	ドキュメント履歴.....	3
2	このドキュメントについて.....	4
3	SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムのデプロイメント.....	5
3.1	デプロイメントコンポーネント.....	6
	共通言語ランタイム.....	6
	プロジェクト出力.....	7
	SAP BusinessObjects BI platform ランタイムパッケージに含まれるアセンブリ.....	7
	SAP Crystal Reports .NET SDK.....	7
3.2	ランタイムパッケージのデプロイメント.....	8
	.NET SDK ランタイムのインストール.....	8
	サイレントランタイムインストールの実行.....	9

1 ドキュメント履歴

バージョン	日付	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.2	2015 年 11 月	ブランド変更によりガイドを更新しました。

2 このドキュメントについて

このドキュメントでは、SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムをデプロイする方法について説明します。ランタイムパッケージを使用すると、SAP BusinessObjects BI platform を各マシンにインストールしなくても、スケジュール、公開、サーバー管理などの機能をインストールできます。

このドキュメントの対象者

このドキュメントは、次のようなプログラマーを対象としています。

- SAP BusinessObjects BI platform の機能を必要とするカスタムアプリケーションをデプロイするプログラマー。
- 既存の SAP BusinessObjects BI platform システムに接続するカスタムアプリケーションをデプロイするプログラマー。

3 SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムのデプロイメント

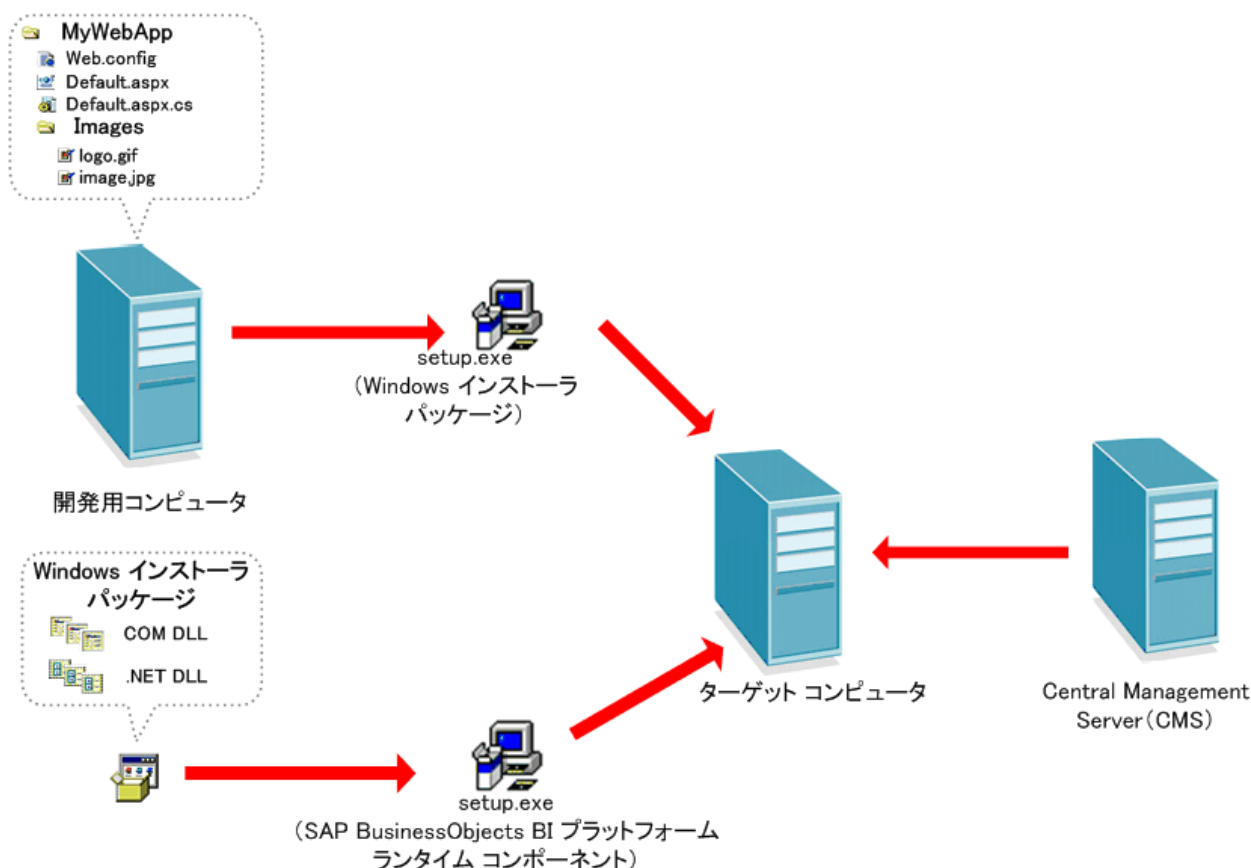
SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムは、32 ビットマシンおよび 64 ビットマシン用の Windows Installer Package として用意されています。.exe バージョンは、直接実行できる標準の Windows Installer です。または、アプリケーションの一部としてパッケージ化されます。

i 注記

BusinessObjects .NET Providers は、32 ビットマシンでのみサポートされます。

SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK を使用する Visual Studio アプリケーションを配布するには、実行しているデプロイメントの種類に応じて、デプロイメントプロジェクトに次のコンポーネントが必要です。

- .NET Framework 3.5 以降
- プロジェクト出力
ターゲットクライアントマシンにアプリケーションをデプロイするために必要な、プロジェクトからのアセンブリ、バイナリ、およびサポートファイル。
- SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK Windows Installer
スケジュール、公開、ユーザー認証、サーバー管理などの SAP BusinessObjects BI platform 機能にクライアントがアクセスするために必要なコンポーネント。
- オプション: SAP Crystal Reports .NET SDK Windows Installer
レポートの表示、印刷、および変更に必要なコンポーネント。



次の方法でランタイムをインストールできます。

- .exe ファイルを手動でダブルクリックする。
- サイレントインストールを実行する。

3.1 デプロイメントコンポーネント

3.1.1 共通言語ランタイム

Visual Studio .NET のアプリケーションをデプロイするには、デプロイメントプロジェクトをインストールする前に、ターゲットコンピュータに .NET Framework をインストールしておく必要があります。デプロイメントプロジェクトを作成する際に、デフォルトでは .NET Framework は含まれません。

.NET Framework は、Visual Studio .NET Windows コンポーネントアップデート CD や、Microsoft の Web サイトから入手できます。CD を利用すると、デプロイメントプロジェクトと共に .NET Framework インストーラ (.exe ファイル) を再配布できます。

または、Visual Studio デプロイメントプロジェクトの必須コンポーネントとして正しいバージョンの .NET Framework を追加することもできます。

3.1.2 プロジェクト出力

Web アプリケーションまたは Windows アプリケーションからのファイルを含むプロジェクト出力は、デプロイメントプロジェクトに追加される必要があります。次のプロジェクト出力のタイプから、1 つ以上を選択できます。

- **[プライマリ出力]** オプションは、Web アプリケーションまたは Windows アプリケーションでビルドされたすべての .dll ファイルおよび .exe ファイルを追加します。

i 注記

Crystal Reports for Visual Studio 2005 以降では、Web サイトから .dll ファイルと .exe ファイルが除外されています。したがって、Web サイトに追加するプライマリ出力はありません。

- **[コンテンツファイル]** オプションは、Web アプリケーションで作成される Web.config、Global.asax、およびすべての Web フォーム (.aspx ページ)、または Windows アプリケーションで作成される App.ico ファイルを追加します。

i 注記

デプロイメントプロジェクトには、ドキュメンテーションファイル、ローカライズされたリソース、デバッグシンボル、およびソースファイルも追加できます。ただし、これらのプロジェクト出力ファイルは、デプロイメントには必要ありません。

プライマリ出力は Winform 設定プロジェクトに、コンテンツファイルは ASPX ファイルを含む Web プロジェクトに追加する必要があります。

3.1.3 SAP BusinessObjects BI platform ランタイムパッケージに含まれるアセンブリ

- BusinessObjects.Enterprise.Admin
- BusinessObjects.Enterprise.Desktop
- BusinessObjects.Enterprise.Dest
- BusinessObjects.Enterprise.Providers
- CrystalDecisions.Enterprise
- CrystalDecisions.Enterprise.Admin
- CrystalDecisions.Enterprise.Auth
- CrystalDecisions.Enterprise.Desktop
- CrystalDecisions.Enterprise.Dest
- CrystalDecisions.Enterprise.Utils
- CrystalDecisions.Enterprise.Viewing
- CrystalDecisions.Sdk.Uri

3.1.4 SAP Crystal Reports .NET SDK

SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムパッケージには、SAP Crystal Reports .NET SDK も含まれています。これにより、SAP Crystal Reports SDK を使用して、レポートを表示、印刷、および変更することができます。

3.1.4.1 含まれる SAP Crystal Reports .NET SDK アセンブリ

- CrystalDecisions.CrystalReports.Design
- CrystalDecisions.CrystalReports.Engine
- CrystalDecisions.CrystalReports.TemplateEngine
- CrystalDecisions.Data.AdoDotNetInterop
- CrystalDecisions.Enterprise.Desktop.Report
- CrystalDecisions.Enterprise.Viewing.ReportSource
- CrystalDecisions.PromptingClientSDK
- CrystalDecisions.ReportAppServer.ClientDoc
- CrystalDecisions.ReportAppServer.CommLayer
- CrystalDecisions.ReportAppServer.CommonControls
- CrystalDecisions.ReportAppServer.CommonObjectModel
- CrystalDecisions.ReportAppServer.Controllers
- CrystalDecisions.ReportAppServer.CubeDefModel
- CrystalDecisions.ReportAppServer.DataDefModel
- CrystalDecisions.ReportAppServer.DataSetConversion
- CrystalDecisions.ReportAppServer.ObjectFactory
- CrystalDecisions.ReportAppServer.Prompting
- CrystalDecisions.ReportAppServer.ReportDefModel
- CrystalDecisions.ReportAppServer.XmlSerialize
- CrystalDecisions.ReportSource
- CrystalDecisions.Shared
- CrystalDecisions.VSDesigner
- CrystalDecisions.Web
- CrystalDecisions.Windows.Forms
- SAPBusinessObjects.WPF.Viewer
- SAPBusinessObjects.WPF.ViewerShared

3.2 ランタイムパッケージのデプロイメント

3.2.1 .NET SDK ランタイムのインストール

SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. SAP Service Marketplace からインストーラをダウンロードします。
32 ビットマシン用と 64 ビットマシン用のインストーラがあります。
2. setup.exe ファイルを実行します。
3. セットアップ言語を選択し、[OK]をクリックします。

前提条件のチェック画面が表示され、見つからない必須コンポーネントとオプションコンポーネントがリストされます。

4. 見つからないコンポーネントがある場合は、その項目をクリックして、解決方法を確認します。
5. [次へ]をクリックします。
6. 使用許諾契約に同意し、[次へ]をクリックします。
7. インストール先フォルダを指定し、[次へ]をクリックします。
8. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。

3.2.2 サイレントランタイムインストールの実行

SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムパッケージの Windows Installer を使用すると、クライアントマシンでサイレントインストールを実行できます。サイレントインストールは、コマンドラインから全操作が実行され、ユーザー操作を必要としないインストール方法です。

1. コマンドプロンプトに移動します。
2. SAP BusinessObjects BI platform .NET SDK ランタイムの Windows Installer Package が格納されているディレクトリに変更します。
3. コマンド `setup.exe installldir=C:\Program Files (x86)\setupui language=en features=netruntimecontent,root /qn` を入力します。

アプリケーションがインストールされます。

重要免責事項および法的情報

コードサンプル

この文書に含まれるソフトウェアコード及び / 又はコードライン / 文字列 (「コード」) はすべてサンプルとしてのみ提供されるものであり、本稼動システム環境で使用することが目的ではありません。「コード」は、特定のコードの構文及び表現規則を分かりやすく説明及び視覚化することのみを目的としています。SAP は、この文書に記載される「コード」の正確性及び完全性の保証を行いません。更に、SAP は、「コード」の使用により発生したエラー又は損害が SAP の故意又は重大な過失が原因で発生させたものでない限り、そのエラー又は損害に対して一切責任を負いません。

アクセシビリティ

この SAP 文書に含まれる情報は、公開日現在のアクセシビリティ基準に関する SAP の最新の見解を表明するものであり、ソフトウェア製品のアクセシビリティ機能の確実な提供方法に関する拘束力のあるガイドラインとして意図されるものではありません。SAP は、この文書に関する一切の責任を明確に放棄するものです。ただし、この免責事項は、SAP の意図的な違法行為または重大な過失による場合は、適用されません。さらに、この文書により SAP の直接的または間接的な契約上の義務が発生することは一切ありません。

ジェンダーニュートラルな表現

SAP 文書では、可能な限りジェンダーニュートラルな表現を使用しています。文脈により、文書の読者は「あなた」と直接的な呼ばれ方をされたり、ジェンダーニュートラルな名詞 (例: 「販売員」又は「勤務日数」) で表現されます。ただし、男女両方を指すとき、三人称単数形の使用が避けられない又はジェンダーニュートラルな名詞が存在しない場合、SAP はその名詞又は代名詞の男性形を使用する権利を有します。これは、文書を分かりやすくするためです。

インターネットハイパーリンク

SAP 文書にはインターネットへのハイパーリンクが含まれる場合があります。これらのハイパーリンクは、関連情報を見いだすヒントを提供することが目的です。SAP は、この関連情報の可用性や正確性又はこの情報が特定の目的に役立つことの保証を行いません。SAP は、関連情報の使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。すべてのリンクは、透明性を目的に分類されています (<http://help.sap.com/disclaimer> を参照)。

www.sap.com/contactsap

© 2015 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> をご覧ください。